

みなとみらい産官学ラウンドテーブル第24回公開セミナー

平成27年3月4日(水)『みなとみらい産官学ラウンドテーブル第24回公開セミナー』が横浜国立大学成長戦略研究センター主催により、横浜文化情報センターにおいて開催されました。

今回は「横浜の女性を演じて」というテーマで、横浜夢座の座長 五大路子様より御講演頂きました。

五大さんは横浜市港北区出身、桐朋学園芸術短期大学に学び、早稲田小劇場を経て新国劇やNHKの連続テレビ小説『一番星』のヒロインなどで御活躍されてきました。

近年は、横浜で生きた女性たちという素材を発掘・取材し舞台化で、横浜から夢と文化のすばらしさを世界に発信することに精力的に取り組んでおられます。

「横浜ローザ」のモチーフとなったメリーさんとの出会いや、図書館で目に触れた「横浜行進曲」の楽譜などをきっかけに、横浜を歩き、関係者に取材し演目化する中で、1999年に「横浜夢座」を旗揚げし、明治・大正・昭和を横浜で生きた女性を掘り起し、彼女達の見た夢を舞台で甦らせる挑戦を20年近く続けられ、2012年には横浜文化賞を受賞されました。

戦後を生き抜いた「横浜ローザ」の他に、昭和の温もりを感じさせる「野毛武藏屋」のおばちゃん、山本周五郎を支えた妻、富貴楼を営んだ女傑などハイカラで人情味のある街横浜で新しい事に挑戦する女性の姿を通し行動し実現する人々の声を発掘し舞台から多くの人に伝えたいという熱い思いを、様々な裏話や朗々たる歌声なども交え披露頂きました。

<フロアとの質疑>

1. 横浜ローズ(メリーさん)を20年演じられ、以前と最近の境地の変化は感じられますか？
⇒以前はメリーさんを知る方たちが囁きあったが、今では声をかけられることもなくなりました。
逸話を知らない若い世代の人たちに、戦後を逞しく生きた女性像を伝え続けたい。
2. 横浜の女性は芯が強いというイメージがありますが、どの様に今後演じたいですか？
⇒自分で横浜を歩き発掘した女性たちに、魅了されるままに演じたいと思います。
3. 調査→舞台化スタイルや横浜夢座の後継者はどのように育てられるおつもりですか？
⇒横浜の宣伝ではなく、心を動かされたモチーフを演じ続けたいので、特に他人に押し付けるつもりはありません。

【参加者のアンケートから】

25名が参加され、19名からアンケート回答を頂きました。特徴的な意見を以下に掲載します。

- ・横浜夢座の裏話、苦労話、メリーさんとのやり取りを聞いて、貴重な講演を聞いて良かったです。
- ・このように直接お話しを聞くことができ、うれしかったです。
- ・人生の生き方、大切に思うことを表現し、舞台を通して伝えることのすばらしさを改めて学びました。
- ・正直に感じたことで今を生きるというメッセージに感銘。
- ・横浜という街のもつ”深さ”を改めて感じました。

【セミナー会場の様子】

